

12. 救急・集中治療

Emergency and Critical Care Medicine

【1】期 間 2026年5月18日～5月25日

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎二階哲朗（教授，麻酔科学）

岩下義明（教授，救急医学）

コース主任 三原 亨（助教，集中治療部）

担当講座：麻酔科学，集中治療部，救急医学，脳神経外科学，整形外科，小児科学，
リハビリテーション

【3】授業の目的

○救急医療を理解するために，社会的なシステムと救急疾患の初期治療を学ぶ。

○集中治療管理の必要性を理解し，その基本的治療を学ぶ。

【4】授業の到達目標

1. 救急医療システム（プレホスピタルケアを含む）を説明できる。
2. バイタルサインの重要性を説明でき，異常を認める場合，正常化させるプロセスを立案できる。
3. 生命に危険を及ぼす部位の代表的な病変を列挙し，その治療法を説明できる。
4. 各種ショックの分類を理解し，診断と治療を立案できる。

1. 集中治療の適応について説明できる。
2. 集中治療管理における全身管理について説明できる。
3. 敗血症の病態を理解し治療戦略を述べることができる。
4. 敗血症の感染治療を理解し，説明できる。
5. 呼吸不全・ARDSの定義を述べることができ，その診断・治療を記述できる。
6. 酸素療法・人工呼吸管理の必要性，および具体的な方法について説明できる。
7. 集中治療患者の予後改善のために行うべき治療・ケアを学ぶ。
8. 多職種連携の重要性を学ぶ。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い，最終日に試験を実施します。

【6】キーワード

救急・集中治療

ショック 敗血症 DIC 感染症 呼吸不全

人工呼吸管理 PADIS PCAS

SDGs：3. すべての人に健康と福祉を，4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

その週の学習効果を筆記試験で評価する。

【8】参考図書（◎は購入推薦図書，他は図書館にも備えてあります）

- ◎1. 内科救急診療指針 2022 日本内科学会編 総合医学社
- ◎2. 標準救急医学. 第5版 日本救急医学会監修 医学書院. 2014年.
- ◎3. 集中治療専門医テキスト 第4版 日本集中治療医学会

4. 日本版敗血症診療ガイドライン 2024 (J-SSCG2024) 日本集中治療医学会、日本救急医学会合同 日本版敗血症診療ガイドライン 2024 特別委員会
5. 新呼吸療法テキスト 3 学会 (日本麻酔科学会 日本呼吸器学会 日本胸部外科学会) 合同 呼吸療法認定士認定委員会一編集 2012
- ◎ 6. AHA 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン 2020 AHA, Inc.
7. Trauma, David V Feliciano, Kenneth L Mattox, Ernest E. Moore. McGraw-Hill 6th ed. (2007 年)
8. ARDS 診療ガイドライン 2021 ARDS 診療ガイドライン 2021 作成委員会
9. 救急・集中治療最新ガイドライン 2026-27 土井研人 克誠堂出版
10. JRC 蘇生ガイドライン 2020 日本蘇生協議会 医学書院
11. 成人 ICU 患者に対する鎮痛・鎮静・せん妄管理ガイドライン改訂版 (「PADIS ガイドライン」) Crit Care Med. 2018; 46(9):e825-e873
12. 重症患者リハビリテーション診療ガイドライン 2023 日本集中治療医学会集中治療早期リハビリテーション委員会

【9】局所解剖 なし

12. 麻酔・全身管理

Anesthesia and Intensive Care

【1】期 間 2026年6月1日～6月8日

【2】担当教員(◎は主責任者)

コース責任者 ◎二階哲朗(教授, 麻酔科学、集中治療部)

コース主任 森英明(講師、麻酔科学)

担当講座: 麻酔科学、手術部、集中治療部

【3】授業の目的

麻酔・全身管理に必要な基礎的知識および技能を習得する。

【4】授業の到達目標

- ① 周術期における麻酔管理の意義, 必要性について学ぶ。
- ② 起こりうる周術期合併症について学ぶ
- ③ 術前全身状態の評価。術前管理に必要な知識を習得する。
- ④ 麻酔薬の薬理学的特徴を理解する。
- ⑤ 全身麻酔法および局所麻酔法の種類, 特徴, 適応について学ぶ
- ⑥ 周術期管理におけるモニタリングについて学ぶ
- ⑦ 気道・呼吸・循環管理など周術期における全身管理について学ぶ。
- ⑧ 術後管理、術後疼痛について学ぶ。
- ⑨ 特殊な手術の管理を学ぶ(小児 産科 心臓 胸部)
- ⑩ 基本的な全身管理に必要な医療技術を学ぶ
- ⑪ 麻酔管理を手術室以外で応用する医療を学ぶ

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い, 最終日に試験を実施します。

【6】キーワード

麻酔・全身管理

SDGs : 3. すべての人に健康と福祉を, 4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

試験、学習態度など総合的に評価します。

【8】参考図書(◎は学生が購入すべき図書,他は図書館に備えてあります)

◎1) Gropper M ed. Miller' Anesthesia, 9th Edition, Churchill Livingstone. 2019, 56165 円

◎2) 稲田英一監訳、MGH麻酔の手引き第7版, メディカル・サイエンス・インターナショナル. 2017, 8800 円

◎3) 稲田英一 他編, 標準麻酔科学第7版, 医学書院, 2018, 5,616 円

◎4) Pardo M (著), Ronald D. Miller RD (著), Basics of Anesthesia, 7版, I Elsevier 2017, 10564 円

5) 津崎晃一編, MGH ペインマネジメントの手引き, メディカル・サイエンス・

インターナショナル、7,800 円

- 6) 高崎真弓他編 麻酔科トラブルシューティング A to Z 第 2 版, 文光堂, 2022, 17,600 円
- 7) 森田潔 他編 臨床麻酔科学書, 中山書店 2022, 19,800 円
- ◎ 8) 日本麻酔科学会編 周術期管理チームテキスト第 4 版 2021 日本麻酔科学会 5,500 円

【9】局所解剖 なし

12. Acute Care Surgery

【1】期 間 2026年5月25日～6月1日

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎渡部広明（教授，Acute Care Surgery 講座）

コース主任 比良英司（准教授，高度外傷センター）

担当講座：Acute Care Surgery 講座

【3】授業の目的

○Acute Care Surgery の専門性を理解し，治療戦略について説明できる

【4】授業の到達目標

1. 外傷初期診療における Primary survey, Secondary survey を理解し説明できる
2. ダメージコントロールの戦略を理解し説明できる
3. 多発外傷の治療戦略を立案できる
4. 外傷外科手術の必要性を理解し説明できる
5. 外傷治療における IVR の役割を理解する
6. 災害医療と DMAT の役割について理解する
7. 災害時のトリアージができる
8. 救急外科治療について理解し説明できる
9. Acute Care Surgery における外科的集中治療の重要性を理解する
10. Non-technical skill を理解する
11. 病院前診療について理解し説明できる。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義等を行い，最終日に試験を実施します。

【6】キーワード

Acute Care Surgery

SDGs：3. すべての人に健康と福祉を，4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

その週の学習効果を筆記試験で評価する。各講義後の小テストも評価の対象とする。

【8】参考図書（◎は購入推薦図書，他は図書館にも備えてあります）

- ◎1. 外傷初期診療ガイドライン JATEC 改訂第6版. 日本外傷学会，日本救急医学会監修. へるす出版. 2021
- ◎2. 外傷専門診療ガイドライン JETEC 改訂第3版 日本外傷学会監修. へるす出版. 2023
3. Trauma, Seventh Edition. Kenneth L Mattox, Ernest E. Moore. McGraw-Hill. 2012
- ◎4. 標準救急医学. 第5版 日本救急医学会監修 医学書院. 2014
5. 外傷外科治療戦略 (SSTT) コース公式テキストブック第2版 渡部広明, 松岡哲也 へるす出版. 2018
6. JPTECガイドブック 改訂第2版. JPTEC協議会編著. へるす出版. 2015
7. 外傷外科手術スタンダード 日本 Acute Care Surgery 学会編集. 羊土社. 2012
8. DSTC 外傷外科手術マニュアル 日本 Acute Care Surgery 学会, 日本外傷学会監訳. 医学書院. 2016

9. 急性腹症診療ガイドライン 2015

急性腹症診療ガイドライン出版委員会. 医学書院. 2015

10. MIMMS 大事故災害への医療対応 第3版 MIMMS 日本委員会. 永井書店. 2013

11. DMAT 標準テキスト 改訂第2版 日本集団災害医学会. へるす出版. 2015

© 12. 標準外科学 第17版 池田徳彦、大木隆生ほか、医学書院、2025

【9】局所解剖 なし